

アジアの才能ある青少年音楽家に、国際レベルのレッスンを受ける機会と、国外での活躍の機会を与える目的で結成された、アジアユースオーケストラ(AYO)。七月二十三日、アジア七つの地域から選抜された百名の若き音楽家達が、熊本県で初めて集い、活動の第一歩を踏み出しました。

今回、このオーケストラの音楽監督

であり、指揮者であるユーディ・メ

ニューアインさんに、AYOの将来や熊

本の印象についてお話を伺いました。

――AYOの目指すオーケストラ像とはどのようなものでしょうか。

私は、常に自分が指揮をするオーケ

ストラに対しても、誰よりも上手なオーケ

ストラになつて欲しいと思つていま

す。特にAYOの若い人達には、世界

の誰よりも一番上手なオーケストラに

なつて欲しい。AYOというオーケ

ストラの役割は、アジアの国々の人

が集

まって一つの言葉＝音楽で話し、世界

の人々、アメリカの人、ヨーロッパの

人にアジアの心を聞いてもらうことだ

と思います。

私の夢、私の目指す所は、AYOと一緒にアメリカ、ヨーロッパに演奏旅行に行くことです。二三年後、AYOが果物が熟すように上手くなつたら、自分達の国を代表するようなすばらしい曲を持つて世界各国で演奏し、その存在を世界の人々に知つてもらえるのではないか。そうすれば、アジア諸国の存在を彼らの声（主張）として表現できるのではないかと思ひます。

――AYOの将来についてどう考えていますか。

AYOは、今後長く続していくでしょう。それは、このAYOが自然の力で必然的につくられたからです。皆さん

が西欧諸国の音楽を演奏されるよう

に、

こんどは皆さんの音楽を音符として紙

の上に残し、西欧の人達がそれを演奏

する時ではないでしょうか。

私としてはAYOを指揮し、アジア

諸国の作曲家が作曲されたものを指揮

してみたいですね。私は、実際に武満

徹の曲は海外で演奏したことがあります。アジアの曲を通じて、どんな刺激

がアジアの人々を泣かせ、笑わせるか

ということを、西欧の人達に分かつて

もらえるのではないでしょうか。

泰勝寺を訪問されたそうですが、そ

の感想も含めて熊本、もしくは日本のイ

メージを伺えますか。

日本人は小さな静かな所、心の落ち

着く場所、瞑想にふけることができる

ような場所に対して特別な感情を持っ

ていますね。日本人は、自然の要素と

いうものを自分達の文化や芸術の中

に吸収してしまっています。例えば石ひ

とつ置くにしても、花を生けるにしても、木や盆栽を育てるにしても、常に

精密さと落ち着きをもつて自然を単に

装飾としてではなく、文明社会における人生にとって最も大切なものとして

捉えていると思います。また、日本人

は長い聞きめ細かなを作ることが

できる芸術者でした。

私が常に願うことは、皆さんがずっと

このような日本の伝統的なものを育

成していく欲しいということです。

――音楽を愛している熊本の若い人達にメッセージを。

いろんな草、あるいは木、あるいは

動物、あるいは公園、あるいは人間同

士を大事にしてほしい。また、自分達

が住む美しい国を大切にし、今の美し

さのままであるべき日本の良さを保持

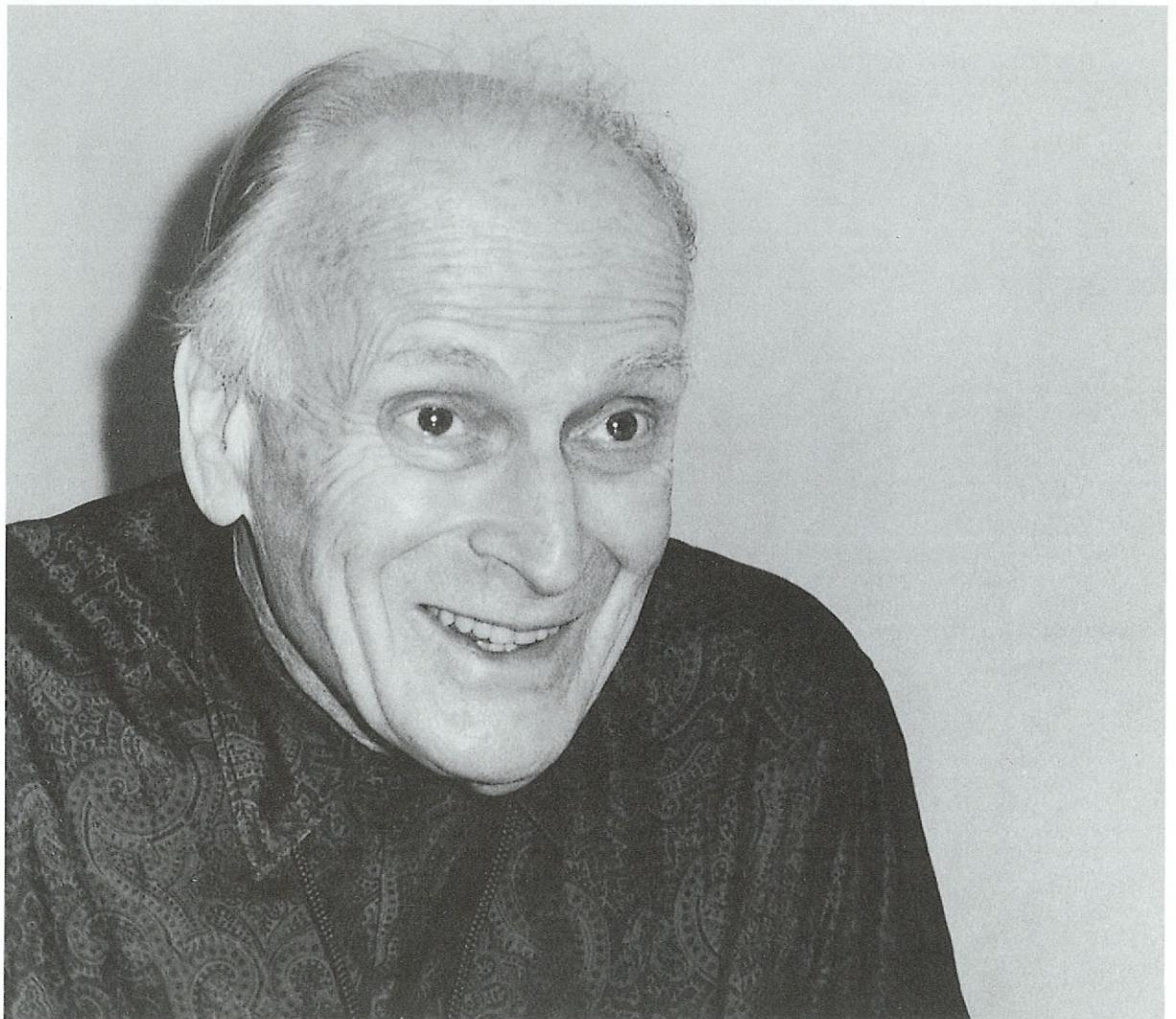
していってほしいと思いますね。



## TALK & TALK

### トーク&トーク

アジアユースオーケストラ(AYO)音楽監督  
ユーディ・メニューインさん



## 音楽という一つの言葉で 世界の人々にアジアの魂を伝えたい

スピリッツ

ユーディ・メニューインさん

1916年、ニューヨークに生まれる。  
幼時からヴァイオリンに対する興味と才能を示し、1924年サンフランシスコ、1926年ニューヨークでデビュー、大成功を収めた。その後もパリ、ベルリン、ロンドンと各国でセンセーショナルにデビュー。10代の前半にして名声を確立した。1959年以降はロンドンに居を定め、バース、ワインザー、メニューインの各音楽祭を主宰。室内管弦楽団を率いての指揮活動、「メニューイン・スクール」の開設など、教育活動にも意欲を示している。



知事との懇談